

事業概要：官民共創による新たな価値の創出プロジェクト

新規

申請者	愛媛県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,329,112千円 (454,150千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ 多様な主体の共創により、地域の自律的な課題解決能力を高め、持続可能な地域発展を支える好循環を形成する。 ・ 少子化・人口減少や経済停滞等により失われた活力を取り戻し、新たな挑戦が生まれ続け、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる、「強い経済」を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 官民共創の基盤を構築し、多様な主体が連携して課題の解決（設備投資、新商品の開発・販路拡大、新ビジネスの創出等）に取り組むことで、労働生産性の向上、地域経済の多様化と高付加価値化を図るとともに、地域全体の活力維持・向上を目指す。					官民共創のイメージ	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・官民共創推進のための相談・伴走支援の構築（委託料、講師謝金・旅費）18,914千円 ・県内市町の共創による問題解決手法の実践支援(委託料、講師謝金・旅費、事務経費)15,662千円 ・官民共創チャレンジ支援（補助金）100,000千円 ・Ehime Robotics Lab（ロボット等の導入に関する研究・実証ラボ）の創設（備品購入費、委託料、事務経費等）103,349千円 ・地域完結型EV資源循環モデルの構築（委託料、事務経費）36,333千円 ・県内SIer企業・ロボット等導入企業への支援（補助金）52,614千円 ・DX認定の取得加速化（委託料）25,000千円						
主なKPI	①県関与年間成約額（+38.33億円） ②県内企業における雇用人員の充足度（雇用人員判断D.I.）（+4ポイント） ③本事業の取組を通じた創出プロジェクト件数（+68件） ④官民共創拠点利用者数（+55,000人）					URL	令和8年7月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	